

S.W.A.T.

シーズン7



「S.W.A.T. シーズン7」 【別紙】プレスシート



INTRODUCTION

イントロダクション



S.W.A.T. ファンの大きな声援がシーズン継続に繋がったシーズン 7 がついに日本初上陸！

日本でも一世を風靡した 70 年代の人気ドラマ「特別狙撃隊 S.W.A.T.」の現代リブート版「S.W.A.T.」は、大型クライムアクションドラマ。「クリミナル・マインド」のデレク・モーガン役でも有名なシェマー・ムーアが、凶悪犯罪に立ち向かう S.W.A.T. チームの頼れるリーダー、ホンドーを演じ、2017 年のスタートから世界中でファンを増やしてきた。

だが、2023 年 5 月、米 CBS が放送中のシーズン 6 をもってシリーズを終了すると発表。これに不服のシェマー・ムーアが Instagram でシリーズ継続を訴えた結果、「#SaveSWAT」のタグで「S.W.A.T.」救済を訴えるファンたちのコメントが SNS を席卷する事態となった。すると、数日後に米 CBS はキャンセルを撤回、シーズン 7 を最終シーズンとすることを決定。こうして 2024 年 2 月、シーズン 7 が全米放送を開始すると第 7 話までの平均視聴数が 880 万人という好成績を記録、第 8 話放送直前にはなんと再びキャンセルが撤回され、シリーズ継続が発表されるという 2 度目のサプライズが起こった。

このようにファンの情熱と愛によってシリーズが存続することになり、2024 年 10 月からは全米でシーズン 8 が放送開始している「S.W.A.T.」。根強い人気を証明して新たなスタートを切った話題作のシーズン 7 がいよいよ独占日本初放送される！

STORY

ストーリー



シェマー・ムーア主演、大人気アクションドラマのシーズン7が独占日本初放送！
TVシリーズでは他に類を見ない、迫力あるアクションと熱い人間ドラマに注目

10年前、警察が保護していた事件の証人となる女性が殺され、まだ幼かった娘ピアだけが生き残る。その女性に証言するよう説得したのはホンドーで、彼は犯人を取り逃がした上、ピアからの信用も失ってしまう。

そして現在。ピアの母親を殺した犯人であるエルサルバドルの大物ギャング、ベルドゥーゴがメキシコで逮捕され、ホンドーは彼をアメリカに護送する任務でパウエル、ヒックス司令官とともにメキシコシティにやってくる。そして、音信不通だったピアと現地で思いがけず再会するが、ホンドーらの目の前でベルドゥーゴはまんまと逃亡してしまう。それを追うメキシコ警察の捜査にホンドーたちが加わる一方、ベルドゥーゴに復讐心を抱くピアも独自に行動を始めて…。



第1話「約束」



第1話「約束」



第2話「和平交渉」

HIGHLIGHTS

見どころ



■スカッとできる豪快なアクションと共感できる感動ストーリー

本作の見どころはなんと言ってもプロフェッショナルなS.W.A.T.チームが繰り広げるテンポのいい豪快なアクション。ブラックベティと名付けられた専用車両で出動、時にはバイクやヘリコプターに乗って犯人の追跡・狙撃を行い、見事な連携プレーで手強い武装集団をも制圧するチームの痛快な活躍は、毎回視聴者を飽きさせずに楽しませてくれる。また、危険を冒すチームのメンバーたちの強い絆を示す人間ドラマや、それぞれが自分の生き方を見出していくストーリーも視聴者の胸を熱くするポイント。シーズン7では、ホンドーが10年越しで母を殺された少女との約束を果たすなど、様々な経験を通して父親として夫としての責任感に目覚めていく姿が描かれたり、長年ホンドーと苦楽を共にしてきたチームメイトのディーコンが家族と仕事の板挟みになりながら今後の生き方を選ぶ過程が綴られたりするなど、誰もが共感できる感動エピソードが満載だ。

■シリーズから卒業するストリートとルカのエピソードにも注目

シーズン7の第5話でジム・ストリート役のアレックス・ラッセルが、第7話でドミニク・ルカ役のケニー・ジョンソンが最終出演。ストリートはシリーズ開始当初は問題を抱えた新人隊員としてホンドーを悩ませていたが、今やリーダーの資質を備えた立派な隊員へと成長、故郷のロングビーチで新たな使命を見出していく。また、誰よりも思いやりがありどんな相手も見捨てない懐の深いルカは、勇敢な行動で仲間を守るが人生の転機に直面することに。いずれもシリーズ卒業の花道を飾るエピソードとして、これまでの彼らの活躍も走馬灯のように心に蘇るファン必見のストーリーとなっている。なお、ディーコン役のジェイ・ハリントンがシーズン7の第12話で再びエピソード監督に挑戦、アレックス・ラッセルも第10話でエピソード監督を担当している。このように「S.W.A.T.」チームは変わらず“ファミリー”としての結束力を見せているだけに、卒業メンバーの今後のゲスト出演にも期待できそうだ。

HIGHLIGHTS

見どころ



■おなじみの海外ロケは3度目のメキシコを舞台にした合同捜査

「S.W.A.T.」と言えば海外ロケのエピソードもお楽しみ。これまでメキシコ、東京、タイで撮影してきたが、シーズン7は5度目の海外ロケ、3度目のメキシコ撮影となるスリル満点のエピソードがオープニングを飾る。ホンドーたちが異文化コミュニケーションをしながら現地警察と合同捜査を行いロサンゼルスに残るメンバーとも連携しながら犯人を追い詰めていくのは、お馴染みの展開でありながら毎回S.W.A.T.チームの新たな側面が見られるハイライト。今回は今シーズンからレギュラーメンバーに昇格したパウエルがとんでもない災難に巻き込まれてしまうだけでなく、ホンドーがヒックス司令官とともに大胆に行動し途中からメキシコ警察に追われる身となる手に汗握るストーリーとなる。しかし、そんな逆境にもめげずお互いを信じて見事なチームワークを発揮する S.W.A.T. チーム。彼らが事件を鮮やかに解決してみせる姿に、観ているこちらもおエキサイトしてしまうこと間違いなしだ。



シーズン7 第5話「End of the Road(原題)」



シーズン7 第6話「Escape(原題)」



シーズン7 第7話「Last Call(原題)」

GALLERY

シーズン7ギャラリー



第13話「TwentySquad(原題)」



第4話「スベアバツ」



第10話「SNAFU(原題)」



第1話「約束」



第12話「Allegiance(原題)」



第9話「Honeytrap(原題)」

SUMMARY

シーズン1~6までのストーリー



ロサンゼルス市警の S.W.A.T. チームに所属するホンドーは罪のない黒人の高校生が過って撃たれた事件をきっかけに異例の抜擢でリーダーに就任。チームを一つにまとめようと奮闘を始めるが、ベテラン隊員ディーコンとの関係はギクシャクし新米隊員ストリートは問題行動ばかり起こして彼を悩ませる。だが、メンバーたちと数々の事件で生死を共にするうちにチームワークが高まっていき、メキシコでの危険な潜入捜査や東京での警視庁特殊部隊との合同捜査を経て、ホンドーは仲間たち全員と家族のような絆で結ばれていくことに。一方で、黒人警察官としての責任感を強く感じる彼は警察内の差別を正すためにも行動するが、自分の無力さを痛感し警察官を辞めようとまで思い詰めた末にメキシコに出奔、チームは解散の危機に陥ってしまう。それでも結局、大切な仲間たちに支えられて使命感を取り戻し、ロサンゼルス市警に戻ってきたホンドー。再びチームとともに様々な事件捜査に取り組むようになった彼は、恋人ニシェルとの間に子供が生まれてプライベートでも大きな変化を経験する。その後、ホンドーは麻薬取締局に協力した捜査でカルテルのボスから命を狙われ、死を覚悟しながら仲間や家族を守るために奮闘する。そして、その危機を乗り越え事件を解決に導いた彼はついにニシェルにプロポーズして人生の新たな一歩を踏み出す。



シーズン6 第2話「タイ・アナザー・デイ」



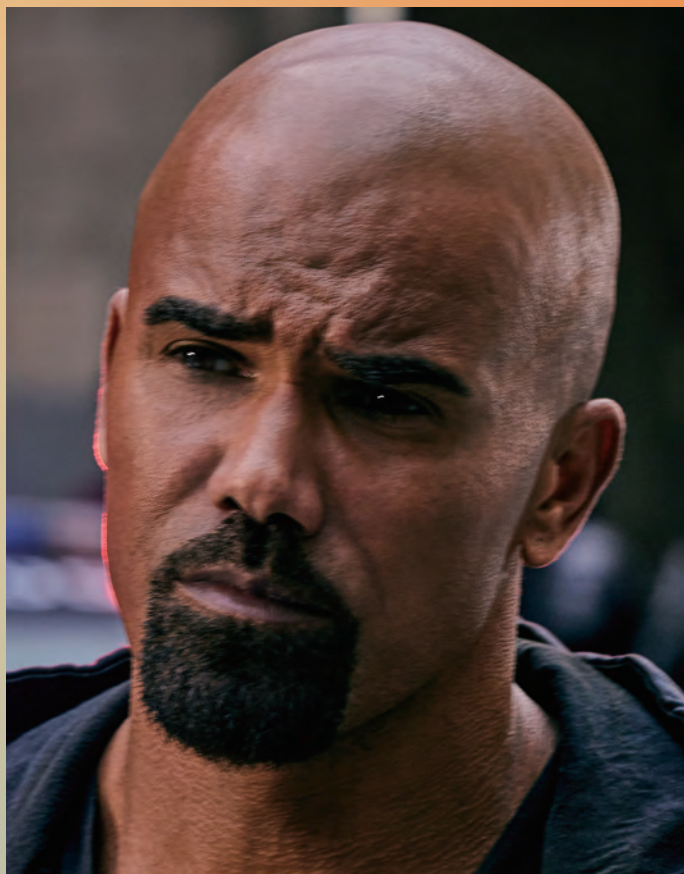
シーズン6 第17話「ストックホルム症候群」



シーズン6 第18話「5つの宝石」

CAST

キャスト



ダニエル・“ホンドー”・ハレルソン

／シェマー・ムーア（声：咲野俊介）

前チームリーダー、バックの後任者に抜擢され S.W.A.T. チームの指揮を執ることに。サウスロサンゼルス市の貧しい地域で生まれ育ち、今でも住民たちとの繋がりを大切に信頼されている。地元民は警官へ不審感を抱いているため、自身が“リーダー”という立場となることに葛藤があるが、いつも冷静沈着でその素質は高い。少年院から出たダリルの里親として母シャリースと共にダリルを引き受けることを決意。さらに、ガンを患っている父ダニエルも同じ屋根の下にやってくる。ダニエルは昔、他の女性と恋に落ちてシャリースを捨てたのだった。そんな両親の暗い過去を見てきているホンドーは、恋人ニシェルとの関係にも一苦勞。さらには、ロス市警の人種差別問題を暴露したことの余波を受けてチームリーダーから一旦下ろされてしまうも、無事に復帰。そして、ニシェルがホンドーとの子を身籠もっていることが分かる。シーズン6の最後でニシェルにプロポーズし婚約した。



第1話「約束」



第3話「逃げてきた男」



シーズン7第10話「SNAFU(原題)」

【シェマー・ムーア】

1970年4月20日、米カリフォルニア州生まれ。数学教師の母親と一緒にデンマークとバーレーンで育つ。7歳でアメリカに帰国。サンタクララ大学でコミュニケーション学と演劇芸術学を専攻する。在学中はモデルのバイトをして生活費を稼いだ。1995年にシットコム「Living Single(原題)」で俳優デビュー。2005年から11シーズンにわたって出演した「クリミナル・マインド」のデレク・モーガン役で人気テレビ・スターの座を不動のものにしたが惜しまれつつ降板、その後本作への出演が決まる。2018年からは『デス・オブ・スーパーマン』『レイン・オブ・ザ・スーパーメン』『The Death and Return of Superman(原題)』『ジャスティス・リーグ:ダーク アポカリプス・ウォー』でサイボーグの声を担当している他、『ソニック・ザ・ムービー/ソニック VS ナックルズ』ではランドールの声を担当。実生活でも娘が誕生したばかり。

CAST

キャスト



ヴィクター・タン / デヴィッド・リム (声: 手塚ヒロミチ)

ロサンゼルス市警察ハリウッド地区の麻薬課に勤務していたが、S.W.A.T. チームに転属された。麻薬課勤務時代に得た秘密情報提供者たちとのコネを捜査に役立たせる。私生活ではボニーと離婚しルカと一緒に住んでいる。

【デヴィッド・リム】

1983年9月23日、カリフォルニア州生まれ。カリフォルニア大学サンディエゴ校で電気工学を専攻するが、卒業後はモデルと俳優の仕事始める。2011年、昼メロ『The Young and the Restless(原題)』で俳優デビュー。その後、TVシリーズのゲスト出演を重ね、「クワンティコ(シーズン2)」にセバスチャン・チェン役で出演。



デヴィッド・“ディーコン”・ケイ / ジェイ・ハリントン (声: 加藤和樹)

経験豊富な頼れる存在で、いつもチームのことを第一に考えている。4人の子どもの父親であり、家族想いな一面も。警備会社の仕事を副業で請け負っている。頼れる存在ではあるものの、実はその重圧に押しつぶされそうになっていたことも分かる。

【ジェイ・ハリントン】

1971年11月15日、米マサチューセッツ州生まれ。シラキュース大学で演劇を学ぶ。主な出演作には『WITHOUT A TRACE / FBI 失踪者を追え!!』『デスパレトな妻たち』など。スポーツ好きで、セブリティ・バスケットボール・リーグや地元のアマチュア・ホッケー・チームで活躍している。前シーズンに引き続き今シーズンの第12話でも監督を務めている。



ゾーイ・パウエル / アンナ・エンガー・リッチ (声: 渡辺ゆかり)

S.W.A.T. アカデミーを卒業し、クリスの後任としてチームの一員に選ばれる。アカデミー時代に自分の直感を信じるあまりヒックスの命令に反いたり、チームとの交流を避け一匹狼のようなところもあったが、少しずつチームと打ち解け、信頼を築き始める。養子に出した息子がいる。

【アンナ・エンガー・リッチ】

フィリピン生まれ。ガムで育つ。幼少期に演技に目覚め、米国のサバンナ アーツ アカデミーで演劇を学ぶ。CW テレビジョン・ネットワークの『Life Sentence』、『シカゴ・メッド』、『Hawaii Five-O』、『NCIS: ニューオーリンズ』、『WALKER / ウォーカー』など多くの人気ドラマにゲスト出演。本作ではシーズン7からレギュラーに昇格。

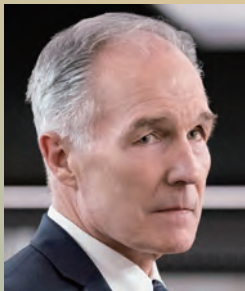


ジム・ストリート / アレックス・ラッセル (声: 相葉裕樹)

ロングビーチ市警察から転属してきたばかりのころは向こう見ずで1人突っ走ってしまうところをホンドーに指摘されることが多々あったが、警官としての素質は非常に高い。元同僚のクリスと同棲中で、シーズン7では古巣のロングビーチでSWAT チームの訓練をしている。

【アレックス・ラッセル】

1987年12月11日、オーストラリア・ブリスベン生まれ。デビュー作は2010年製作のオーストラリア映画『Wasted on the Young(原題)』。TVシリーズにレギュラー出演するのは本作が初めて。主演だけでなく長編映画初製作も務めた『Under My Skin(原題)』が、オーストラリアのアカデミー賞でインディーズ作品賞にノミネートされた。前シーズンに引き続き今シーズンの第10話でも監督を務めている。



ロバート・ヒックス / パトリック・セント・エスプリト (声: 上田耀司)

本部に属す全ての S.W.A.T. チームを統括するロサンゼルス市警特殊作戦局の上級官。犯人追跡中に黒人少年を誤射してしまった前任のバックを解雇し、その後任としてホンドーをリーダーに任命した。妻パバラを亡くしている。弁護士娘のモーリーが、チームメンバーのストリートと付き合っていたことがあった。

【パトリック・セント・エスプリト】

1954年5月18日、カリフォルニア州生まれ。『NCIS』シリーズや『レイ・ドノヴァン ザ・フィクサー』『キャッスル〜ミステリー作家は事件がお好き』など多くの人気ドラマにゲスト出演しているほか、『ワイルド・スピード ICE BREAK』『インデペンデンス・デイ: リサージェンシ』『グリーン・ゾーン』『ハンガー・ゲーム2』などの映画でも好演。



ドミニク・ルカ / ケニー・ジョンソン (声: 西村太佑)

祖父から3世代にわたり警官。メンバー内で取り組む腕相撲では3年連続チャンピオン。シーズン3では腰に大怪我を負い、長らく一線を退きリハビリに専念するも、なかなか S.W.A.T. のフィジカルテストに合格できず、辛い日々を過ごしていた。シーズン7ではロンドンでテロ対策訓練中。

【ケニー・ジョンソン】

1963年7月13日、米コネチカット州生まれ。大学ではフットボールとバスケットボールをプレーした。コマーシャル出演を経て、1990年、映画『情熱のランバダ』で俳優デビューを果たす。TVシリーズの主な出演作には『ザ・シールド〜ルール無用の警察パジャマ〜』『女捜査官グレイス〜天使の保護観察中』『ベイブツ・モーテル〜サイコカラーの覚醒〜』などがある。元アームレスリングチャンピオン。



ニシェル・カーマイケル / ロシェル・エイツ (声: 清水じゅん)

サウスロサンゼルス市のコミュニティーセンターで働き、地域の子どもや若者たちをより良い人生に導くための支援団体を運営している。ホンドーの感情と仕事の原因で一旦は別れるも、しばらくして友達に戻り、そこから再び強い関係を築き上げる。ホンドーとの子を出産し、シーズン6の最後でプロポーズを受け婚約した。

【ロシェル・エイツ】

1976年5月17日、米ニューヨーク州生まれ。大学でダンスの美術学位を取得。FPSゲーム『Left 4 Dead 2』ロシェルの声でその名を知られるようになる。『ER 緊急救命室』『BONES 一骨は語る』『NCIS: ネイビー犯罪捜査班』『クリミナル・マインド』などにゲスト出演し、『溺れる女たち〜ミストレス〜』でレギュラーの座を獲得。本作ではシーズン6からレギュラーに昇格。

S.W.A.T.

シーズン7

INFORMATION

放送情報



「S.W.A.T. シーズン 7」

2025/1/10(金) 独占日本初放送スタート！

【二カ国語版】毎週金曜 21:00

※【字幕版】は 2025 年 4 月放送予定

出演：シェマー・ムーア、デヴィッド・リム、パトリック・セント・エスプリト、アンナ・エンガー・リッチ、
ロシェル・エイツ、ジェイ・ハリントン、アレックス・ラッセル、ケニー・ジョンソン
日本語吹き替え：咲野俊介、手塚ヒロミチ、上田耀司、渡辺ゆかり、清水じゅん、加藤和樹、相葉裕樹、
西村太佑



[新シーズン放送開始記念]

「S.W.A.T. シーズン 6」全話一挙放送

2025/1/4(土)スタート！※1/4のみ【字 5.1】15:00【ニ】25:00

毎週土曜日【字 5.1】10:00【ニ】20:00

1/4(土)【字 5.1】15:00【ニ】25:00 #1-3

1/11(土)【字 5.1】10:00【ニ】20:00 #4-11

1/18(土)【字 5.1】10:00【ニ】20:00 #12-19

1/25(土)【字 5.1】10:00【ニ】20:00 #20-22